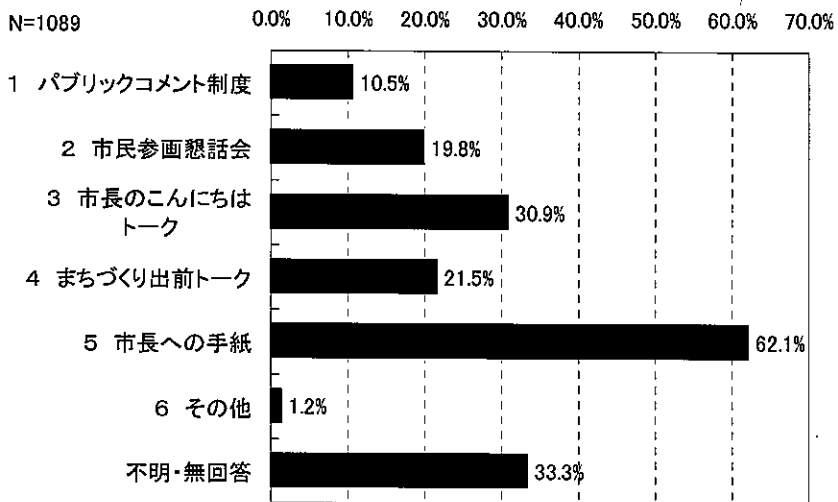


## (仮称) 栗東市協働のまちづくりに関する市民アンケート調査

問1 あなたは、次の制度を知っていますか。あてはまるものをすべて、右らんに記入してください。

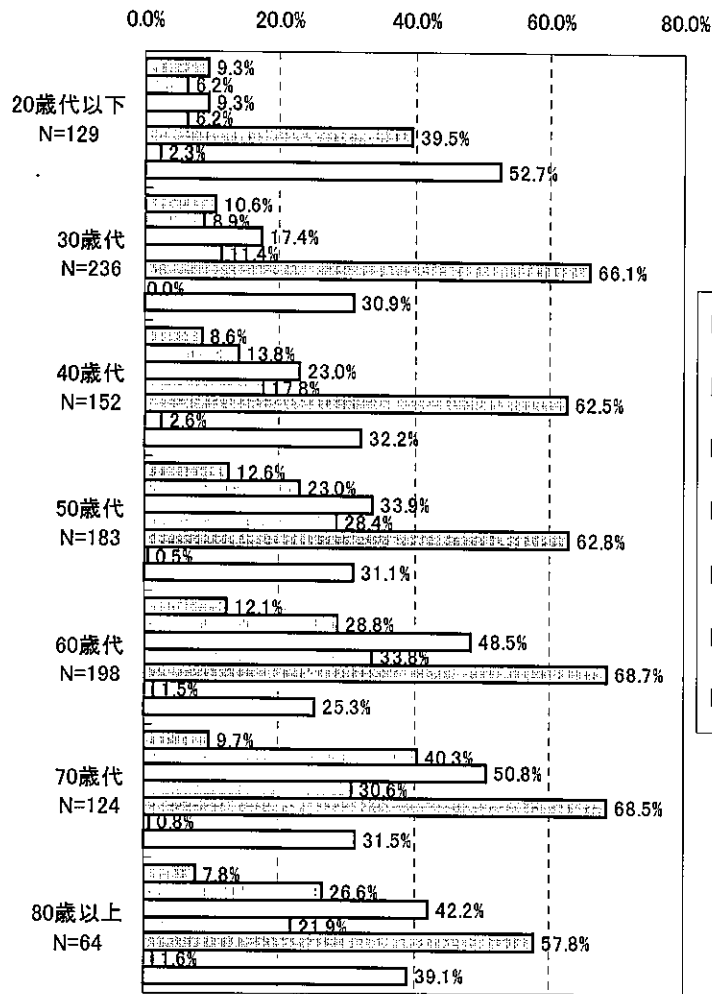
知っている制度としては、「市長への手紙」が6割以上を占める

- ・知っている制度についてみると、「市長への手紙」が最も多く62.1%、次いで、「市長のこんにちはトーク」が30.9%、「まちづくり出前トーク」が30.9%となっている。
- ・なお、「不明・無回答」も33.3%とある。



### 【年齢別集計】

- ・年齢別にみると、各年齢とも「市長への手紙」が最も多く、「20歳代以下」を除いて半数以上を占め、また、「市長のこんにちはトーク」については、60歳代以上で4割以上を占める。
- ・総じて、若い世代ほど制度について知らない人が多い傾向にあり、「20歳代以下」では、「不明・無回答」が半数以上を占める。

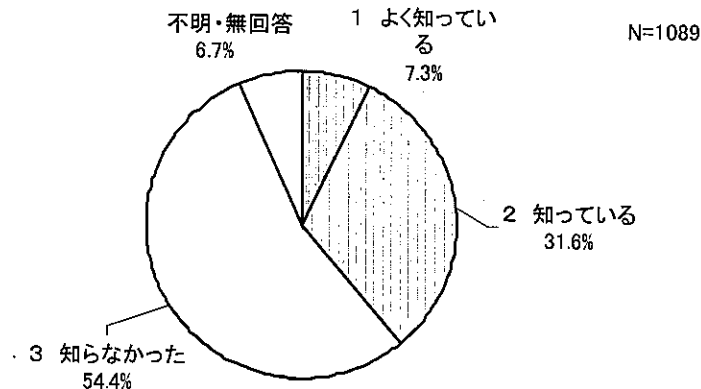


- 1 パブリックコメント制度
- 2 市民参画懇話会
- 3 市長のこんにちはトーク
- 4 まちづくり出前トーク
- 5 市長への手紙
- 6 その他
- 不明・無回答

問2 市民と市がお互いの役割を自覚して、それぞれの立場を尊重し、協力し合ってまちづくりに取り組むことを「協働のまちづくり」といいますが、あなたは「協働」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで、右らんに記入してください。

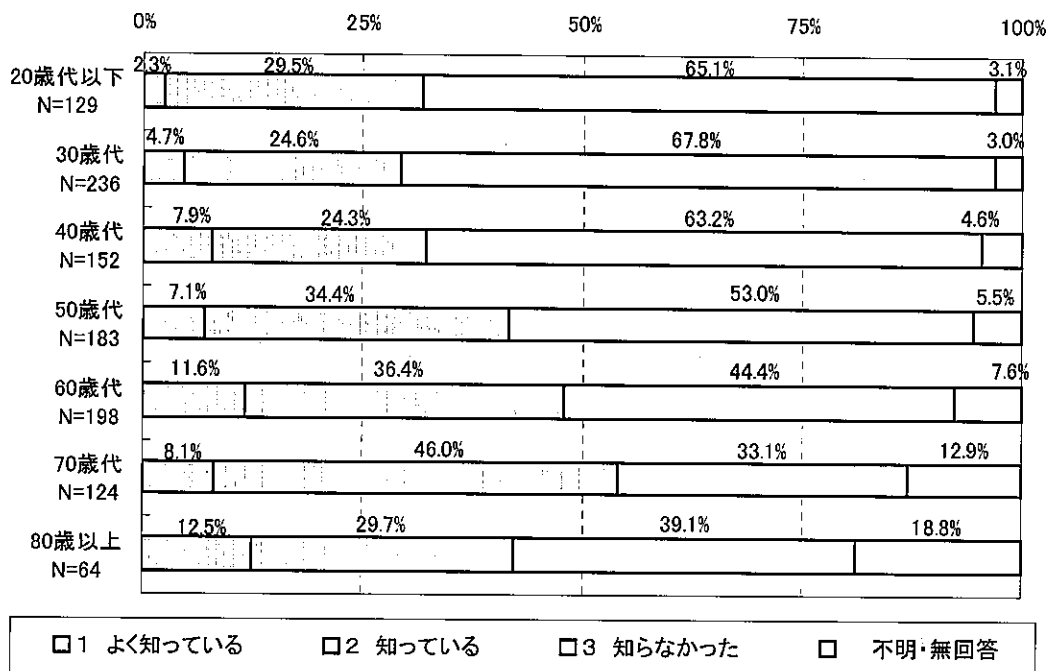
協働という言葉の認知度は、「知らなかった」が半数以上を占める

・「協働」という言葉の認知度についてみると、「知らなかったが」が最も多く54.4%であり、「よく知っている」も含めた、「知っている」の38.9%を上回っている。



【年齢別集計】

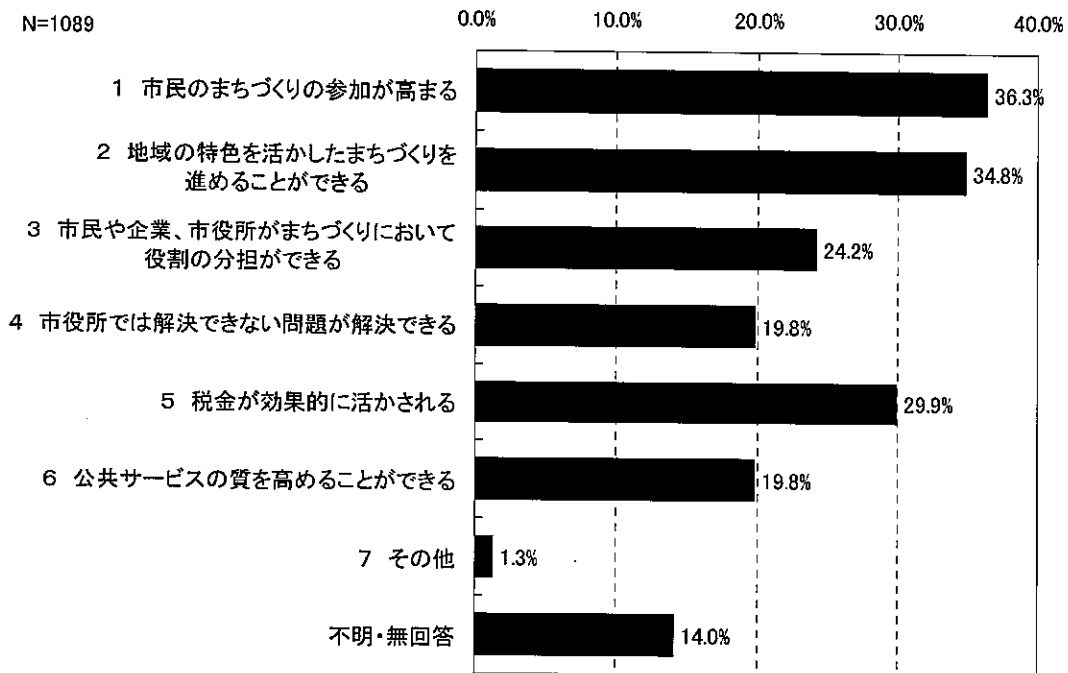
・年齢別にみると、若い世代ほど「知らなかった」が多く、40歳代以下では6割以上、「50歳代」では半数以上をしめている。



問3 「協働」が必要な理由について、あなたのお考えに近いものを2つ選んで、右らんに記入してください。

「協働」が必要な理由は、「市民のまちづくりの参加が高まる」と「地域の特色を活かしたまちづくりを進めることができる」がそれぞれ3割以上を占める

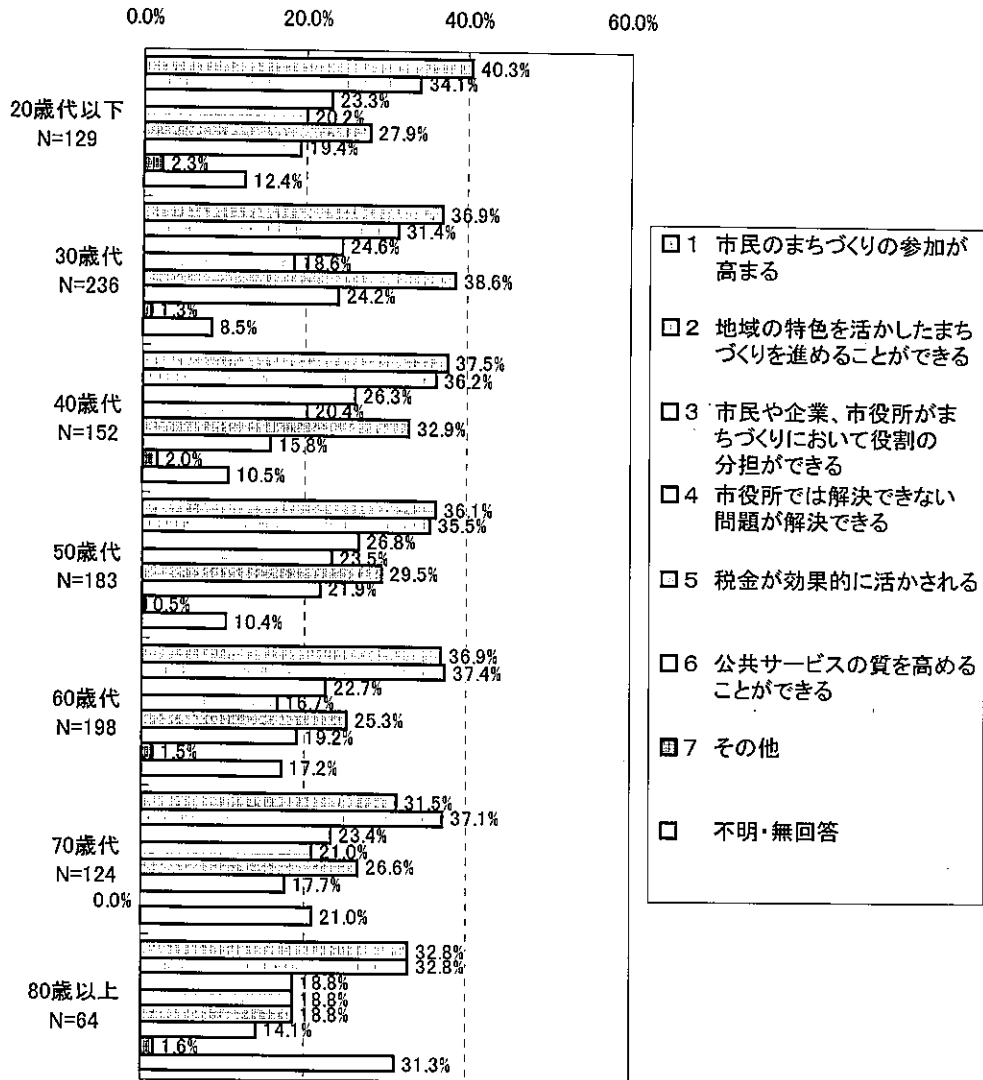
・「協働」が必要な理由についてみると、「市民のまちづくりの参加が高まる」が最も多く36.3%、次いで、「地域の特色を活かしたまちづくりを進めることができる」が34.8%、「税金が効果的に活かされる」が29.9%となっている。



【年齢別集計】

・年齢別にみると、最も回答が多かった項目と次に回答が多かった項目については、「30歳代」を除いて、「市民のまちづくりの参加が高まる」と「地域の特色を活かしたまちづくりを進めることができる」となっている。

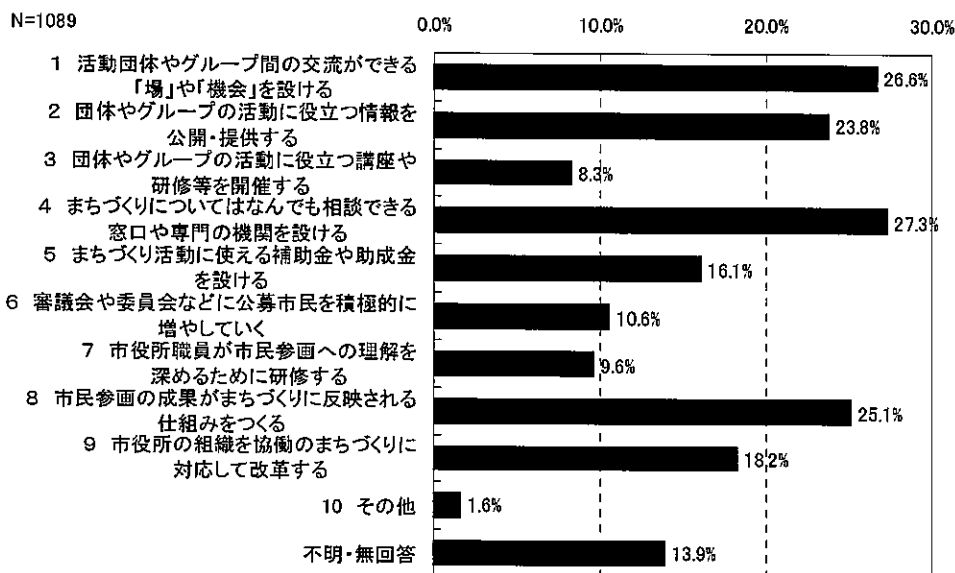
・「30歳代」では、「税金が効果的に活かされる」が最も多く38.6%、次いで、「市民のまちづくりの参加が高まる」の36.9%となっている。



問4 市民と市民、市民と行政が協働してまちづくりを進めるために、市役所にはどのような役割を期待されますか。特に重要と思うものを2つ選んで、右らんに記入してください。

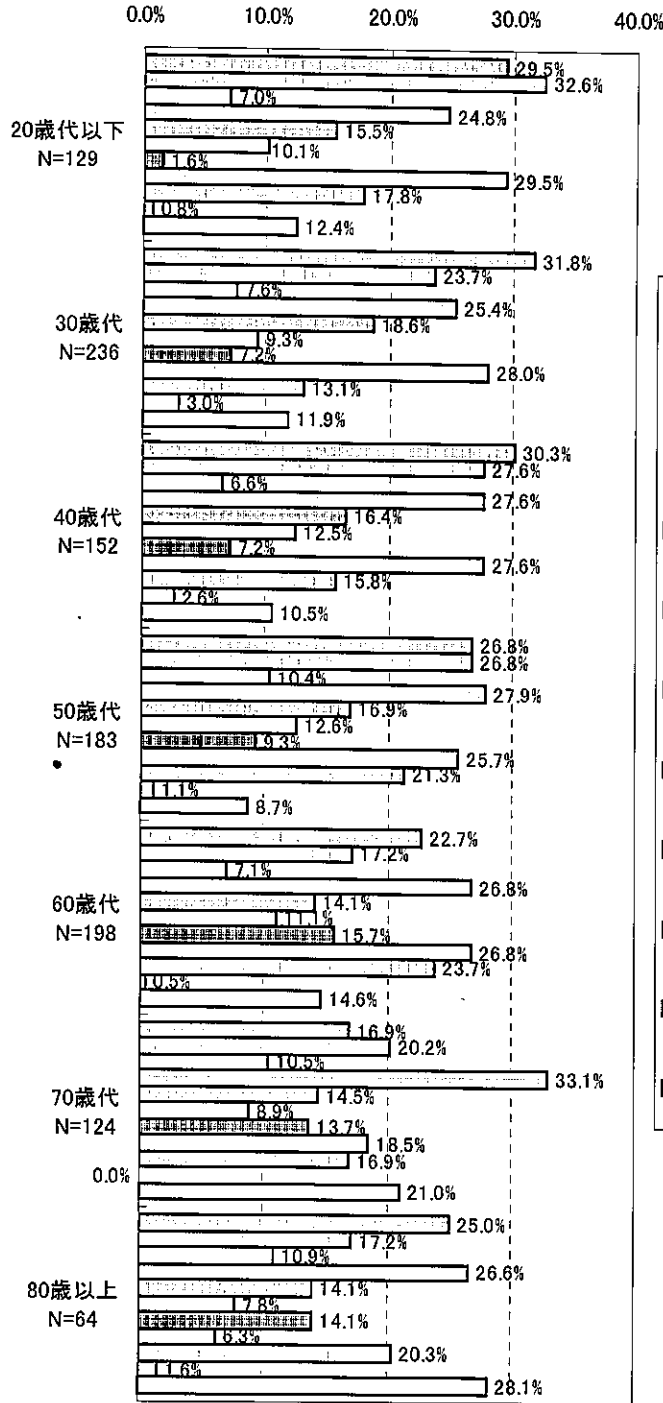
市役所の役割は、相談できる窓口や専門機関の設置や活動団体間の交流ができる「場」や「機会」の設定がそれぞれ3割近くを占める。

・市民と行政が協働してまちづくりを進めるための市役所の役割についてみると、「まちづくりについてはなんでも相談できる窓口や専門の機関を設ける」が最も多く27.3%、次いで、「活動団体やグループ間の交流ができる「場」や「機会」を設ける」が26.6%、「市民参画の成果がまちづくりに反映される仕組みをつくる」が25.1%となっている。



#### 【年齢別集計】

・年齢別にみると、「まちづくりについてはなんでも相談できる窓口や専門の機関を設ける」は、50歳代以上で多く、「活動団体やグループ間の交流ができる「場」や「機会」を設ける」は「30歳代」と「40歳代」で多い。また、「市民参画の成果がまちづくりに反映される仕組みをつくる」は、「20歳代以下」と「30歳代」、「60歳代」で多い。



- 1 活動団体やグループ間の交流ができる「場」や「機会」を設ける
- 2 団体やグループの活動に役立つ情報を公開・提供する
- 3 団体やグループの活動に役立つ講座や研修等を開催する
- 4 まちづくりについてはなんでも相談できる窓口や専門の機関を設ける
- 5 まちづくり活動に使える補助金や助成金を設ける
- 6 審議会や委員会などに公募市民を積極的に増やしていく
- 7 市役所職員が市民参画への理解を深めるために研修する
- 8 市民参画の成果がまちづくりに反映される仕組みをつくる
- 9 市役所の組織を協働のまちづくりに対応して改革する
- 10 その他
- 不明・無回答